

16 まとめのテスト (2)

名前

年組番

100点

1 「まとめ」 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あらしの音は、ますます募るばかりで、すこしもやみませんでした。その合間に、「トン、トン、トン……こんばんは、こんばんは……」という声が聞こえました。
② やはり、家の内では、みんなが黙って、寝たふりをしていました。

「だれかきこえたよ。あんなに、戸をたたいているじゃないの……」と、病気でねている娘がいったのです。

「おまえは、だまっているのだよ」と、母親は、まくらもとへいつてしまいました。

このとき、戸の外に立っている男は、心から訴えるように、

「おねがいです……。どうか、戸を開けてください。火を焚いていられますのなら、まだ起きておいででありましょう……。どうか、すこし戸を開けてください」と頼みました。

(小川未明「二度と通らない旅人」)

(1) 線部の文節数と単語数を、それぞれ漢数字で答えなさい。 5点×2

文節数

単語数

(2) 線①と同じ意味のものを次から選びなさい。 15点

- ア 明日はお休みだったね。
イ 宿題がやっと終わった。
ウ 赤く塗られたポスト。
エ 昨日はとても寒かった。

(3) 線②と同じ品詞のものを次から選びなさい。 10点

- ア あらゆる方法。
イ 早く出かける。
ウ まったく意外だ。
エ すなわちこれだ。

(4) 線③と同じ意味のものを次から選びなさい。 15点

- ア 優勝するなんて、夢のようだ。
イ 大切な本がなくなったようだ。
ウ 先生のような立派な人がいい。

(5) 線④、⑤、⑧、⑨の接続助詞のうち、働きが異なるものを一つ選びなさい。 10点

(6) 線「きた」を、七字で、尊敬語を用いた表現に直しなさい。 10点

(7) 線⑥と同じ働き of the things を次から選びなさい。 15点

- ア 先生になる。
イ 公園に集まる。
ウ 遊びに行く。
エ 五時に帰る。

(8) 線⑦と同じ意味のものを次から選びなさい。 15点

- ア 先生が来られる。
イ 泳ぐ姿が見られる。
ウ 春の気配が感じられる。
エ この量なら食べられる。

16 まとめのテスト (2)

名前

年組番

100点

解答

1 (1) (文節数) 四 (単語数) 九

- (2) エ
(3) ウ
(4) イ
(5) ⑤
(6) いらっしゃった(おいでになった)
(7) イ
(8) ア

解説

1 (1) 文節で分けると

「寝た／ふりを／して／いました。」
単語で分けると
「寝／た／ふり／を／し／て／い／まし／た。」となる。

(2) ① 「た」は過去の助動詞。アは確認、イは完了、ウは存続である。

(3) ② 「やはり」は副詞。アは連体詞、イは形容詞、エは接続詞である。

(4) ③ 「ようだ」は推定を表す助動詞。アはたとえ、ウは例示である。

(5) ④ 「たたいて」⑧ 「起きておいで」⑨ 「開けてください」は、いずれも補助の関係を作る接続助詞の「て」。いっぽう⑤ 「いつてしかったです」は、動詞「いく」と「しかる」を単純に接続している。

(6) 「来る」の尊敬語は「いらっしゃる」「おいでになる」。

(7) ⑥ 「に」は場所を表す格助詞。アは結果、ウは目的、エは時刻を表す。

(8) ⑦ 「られる」は尊敬の助動詞。イは受け身、ウは自発、エは可能の意味。